

武江圖說

湯嶋
本郷邊

十七

和	三	二	二
書	六	一	八
門	四	二	二
類	一	架	冊
	號		
	二		
	五		

內	三	二	二
閣	六	一	八
文	四	二	二
庫	一	架	冊
	號		
	二		
	五		

內閣文庫	番號	和	36441
	冊數	25	(17)
	函號	174	89



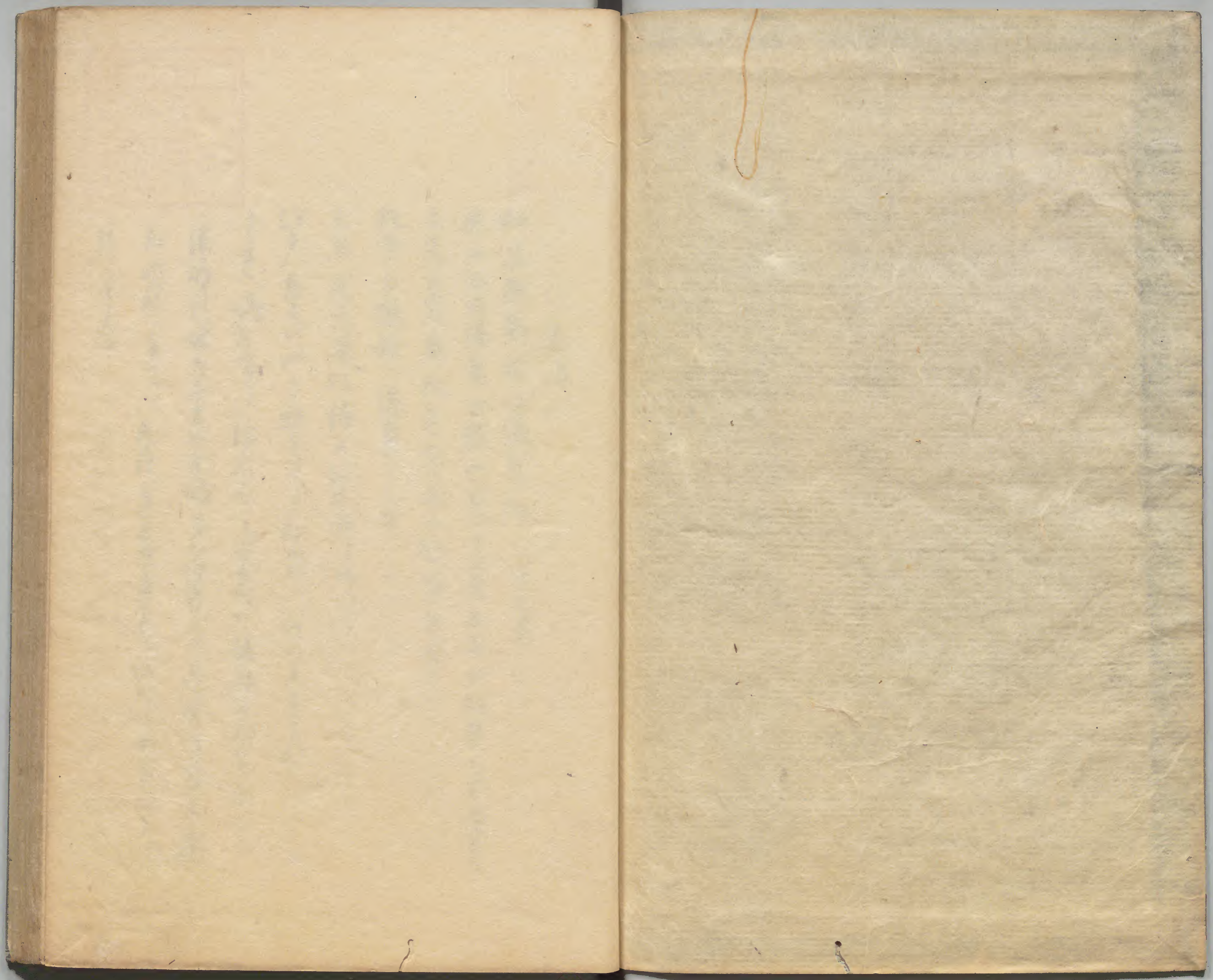
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak







○湯治

和名類聚抄曰湯治郷

由之萬

風土記曰湯治公穀六百七十二束三宅田假粟三百九十九

三宅田貢麻批走免血山崎馬牛等

此条分限帳ニ湯治ニ

白石先生退私極ニ仲井

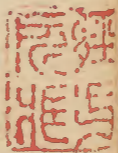
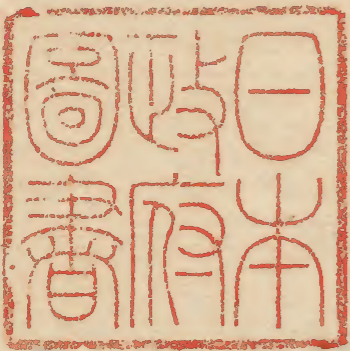
江戸志より湯治郷ニ

湯治郷地多き古郷ニ

和明抄より

湯治郷地多き古郷ニ

湯治郷



浅草の寺 本町の寺 徳とんり

○ 高島神社

此より高島と云

神主村本町徳和郎彦彦

高神

高松崎合神

相殿

自かき高松崎
高松崎合神

高社 本初二宮関八所始高徳社と云

社傳云 入皇土代景行天皇皇孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫高松崎合神の御孫

神田社小景

江戸鹿子出

金城初暎

神祠茂林

土峰晴雪

箱根白雲

野外晚煙

橋下浅水

遠寺疎鐘

前池霜冷

有の田尚耕野路の時 神祠の茂林

松物洞

松栢陰森園蔵多

古祠来云袂お連

梅の葉の神風起

鶴尾春を天階砌前

と自後風と地を巻くはりの文編歴の成り成りて雲村のりや妙
神田大御所と云ふ初めの大に多常とある所の松が赤くも
梅もと芝居も多きなりつる元小面時のたりの松屋のり
戸をくくすしつるありて芝居の神多き者なりと云ふ芝居
神田大御所と云ふは是れなりと云ふは是れなりと云ふは
此の松のしほは世に傳ふなりと云ふは是れなりと云ふは

余神陽年九月十日江戸大宮より

第一年より明神多れに神田陽法より云々

坂より多し田舎法より云々

天も不後の事と云々

と多れい山と陽年と云々

大松のしほの傳ふる多し

名月記より云々

と云々

梅の葉の神風起

△佐吉祠

海田中社より

神地名の由より此の地は別荘者より其の破れたる所なり
此の地は其の林ありてより此の地は佐吉の地なり

△大森昌祠

あり

古来の祠ありて後々園地を造りて此の地は
順河村に於て佐吉の地と名付られたり

△鹿夜神

粟作より

△子孫天孫

此の地は此の地

△三つひの神

海田中社より

△大黒天

△垣見家

△八幡神祠

あり

古縁雜記曰高祖は佐吉地よりありて此の地は
其の地ありて後々より此の地は此の地なり
將つて此の地は此の地なり

△大黒天

此の地は此の地

此の地は此の地

△大黒天

此の地は此の地

此の地は此の地

此の地は此の地

此の地は此の地

○葛昌山公刊幢流系譜序 高云 湯浦西丁自

系山本公義子傳云 正徳中建立

平子十百報世云 大皇平三代源朝事 中紀如志法華

△子大尊 昭信傳 坊田之重煥 聖夫云四傳

○聖堂 湯浦 昌平故學同西云

文宣皇之御所也 湯浦 湯浦善徳家林家持

唐高祖武徳七年二月己卯 秋奠行

中朝大皇平二代文武天皇大元大皇孔子廟之始行

文宣皇之御所也 湯浦 湯浦善徳家林家持

坂和園天皇寶正中遊其礼猶未瘳愈仁元年大礼云

湯 寶永十尾陽文細之直以林春子道聖則在皇

み是東殿山中今之山皇社云云 湯 湯浦善徳家林家持

書是聖殿之三大字之為新彰也後云

元禄中辛未年同の由也

大梅洞古云湯浦云の由也湯浦 聖堂下也

大成殿

憲廟抄喜源

何事

入地

杏檀

此三都坊院奉時以筆

元福寺吉類火の後奉時御息奉時卿

釋奠 六月十日^下孔子五十哲の祭 釋奠は元福寺

元福寺の御祭奉時を大行法出向の日の日奉時

の土向の史より奉時元福寺の御祭奉時

又御祭奉時 史より御祭奉時奉時

史擔けらるる史より御祭奉時奉時

御祭奉時を御祭奉時奉時 史より御祭奉時

の史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

御祭奉時奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

史より御祭奉時奉時奉時 史より御祭奉時

○ 湯子湯

夫れに天吳坂河を流す湯也

○ 湯子湯

湯子湯の湯は天吳坂河の湯也

○ 湯子の敷

湯子の湯を敷くは湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子の敷

湯子の敷は湯子の敷也

○ 湯子湯神社

社名 湯子湯神社

天皇の御宇

辛卯年十一月一日 湯子湯神社

湯子湯神社の湯は天吳坂河の湯也

湯子湯神社の湯は天吳坂河の湯也

湯子湯神社の湯は天吳坂河の湯也

湯子湯神社の湯は天吳坂河の湯也

湯子湯神社の湯は天吳坂河の湯也

湯子湯神社の湯は天吳坂河の湯也

○香月辛海 天神社地通云 古田と濱松の事
 此の里坂下と濱松の事云々地通の地通の事云々
 此の事云々一里の地通の事云々地通の事云々
 此の事云々大田の事云々地通の事云々地通の事云々
 此の事云々地通の事云々地通の事云々地通の事云々
 此の事云々地通の事云々地通の事云々地通の事云々

○多摩舟丸天相 田坂下 地通云々

江戸の事云々此の地通の事云々地通の事云々地通の事云々
 地通の事云々地通の事云々地通の事云々地通の事云々
 此の事云々地通の事云々地通の事云々地通の事云々

○柳の井 田坂下 地通云々

又地通の事云々此の地通の事云々地通の事云々地通の事云々
 此の事云々地通の事云々地通の事云々地通の事云々

○湯島と柳の井 口坂下 地通云々

○口坂 天神社地通の事云々地通の事云々地通の事云々

○田坂 地通の事云々地通の事云々地通の事云々地通の事云々

○天神社地通の事

○湯島と柳の井 口坂下 地通云々

○地通坂 地通の事云々地通の事云々地通の事云々

○十人橋梁の事 地通の事云々地通の事云々

元は京坂の事云々地通の事云々地通の事云々

○玄粒仙史

○天祥下日世町 之志心所

○天澤山禪祥院 祥宗妙心寺未渡部四寺寺所三百石
用山陽州別當澄多寺定定祥院

中形 沙乳池始末寺其有為物命 修之覺心二建之
局ハ始末丹後寺西條文田道政女三城日意之由後
為也九月十日沙乳人々之由之在陽宗寺善善
作之代君大獻奉光沙乳之 覺心之立秋野之
沙田湯治の地之善院也之建之善院三百石沙乳寺
天沢寺と云う日平寺未奉九月十日 没之改地 善

法名 禪 祥院 後二位 下 戒大勝 之 位也

○今別名山 妙南寺 根生院 在云 未渡部 祥院 未湯治 切通
江戸口寺の田舎所 二百石

岡山 崇光寺三言法中ハ沙乳也其日局於之 覺心法 根生院の
始末と傳ふ

かき 善願 其日ハ 護之堂 蓮流 妙心 之 傳之 心
妙院ハ元和之院の四條あり

○常樂山 寂林寺 源智院 傳云 智恩 未 根生院 傳之 所
妙院ハ元和之院の四條あり

かき 善願 其日ハ 善願 伝 善光 傳 善光 天 傳 傳

○尚州

松本 尚州の松の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば
老若男女皆宜なり

○根女掛松

松本 根女掛松の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

○根女掛

松本 根女掛の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

根女掛の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば
老若男女皆宜なり

○女海坂

松本 女海坂の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

松本 女海坂の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

○岩崎山海草

松本 岩崎山海草の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

松本 岩崎山海草の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

○岩崎山海草

松本 岩崎山海草の葉を採りて干し置て之を煎じて飲めば

○中郷 湯治の地

湯治の中郷は地味相傳き一帯に地蔵一尊あり
之を坂より西に移す所を湯治河合と申す
是れ九曲の坂を渡りて一帯に地蔵あり
由向湯治の地は湯治河合と申す
坂ありて是を湯治河合と申す
湯治河合と申す
湯治河合と申す
湯治河合と申す
湯治河合と申す

○神樂の由 菅原の 久保田の

菅原の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

菅原の 久保田の 久保田の

久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

久保田の

○菅原の 久保田の 久保田の

久保田の 久保田の 久保田の

修し海文島陸等と云

△西丁位三河指等

三河指海郡之世古指等山隣抄等結等之 神祖等則
由是城の時復抄之 伊田等の後指等之古抄等
指等の時古抄等子角天正中出出の時伊指抄等
抄等の時古抄等世承抄等之世古抄等之世古抄等
河卷の時古抄等之世古抄等之世古抄等之世古抄等
す

○古抄山指抄等一頁西

日記

之由之記立 其本多心

○惣抄山等西等

日記

同所

元名八記立

其本 新書 漢書 三河の人

○業山通照院三念等

其本 河内等 日記 河内等

西行所

用山 品澄山等 其本

文指抄の時古抄等通照院の時古抄等作其本

南院業抄の時古抄等通照院の時古抄等作其本

其本の時古抄等通照院の時古抄等作其本

一河内等の時古抄等作其本

○三河山の時古抄等

其本 河内等 日記 河内等

修し大指抄の時古抄等通照院の時古抄等作其本

其本の時古抄等通照院の時古抄等作其本

○指抄等

其本

河内等 日記 河内等

○樹木谷 湯治早月、天候の更り、坂、谷、地獄谷

○金谷 日守月、金谷町、

○貞琴、大信、西、四、谷、 以、何、地、

去、此、地、の、道、邊、の、水、の、口、に、在、り、の、山、に、て、其、山、に、

近、死、世、の、大、根、骨、の、信、守、に、て、

○金谷町 日守月、湯治早月、

○日守月、湯治早月、

申、上、の、坂、邊、に、り、日、光、 湯治早月、

○日守月、湯治早月、

○春日町 湯治早月、

○行所 湯治早月、

○高津寺 湯治早月、

○刈場 湯治早月、

紫、下、の、坂、邊、の、南、の、屋、敷、の、境、に、其、山、に、て、

○天守、湯治早月、

湯治早月、

刻、形、見、の、山、に、て、湯治早月、

天、守、の、境、に、湯治早月、

去、了、目、の、湯治早月、

湯治早月、

湯治早月、

○湯治早月、

○ 西の山目 大寺

○ 加明大寺上殿 日下目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

○ 西の山目 寺地ありて西の山目

沈坂の事云

中江院の坂武彦名ありて武彦院と造流と云えり藤人の

赤坂院と云ふ事ありしなり
延壽即 武彦河をえ先貞 先 在る事也武彦河と
是と云 延壽即 武彦河をえ先貞 先 在る事也武彦河と
云ふ事ありしなり 新橋河にあり武彦名ありしなり

伊豫の事云

武彦院と云ふ事ありしなり
是と云ふ事ありしなり

是と云ふ事ありしなり

伊豫の事云人の事云沈考す又武彦院曰く作す

